

音楽科学習指導案

I 題材 くりかえしの音楽

教材 コップで音楽

小ぎつね 勝 承夫 日本語訳 ドイツ民謡 ハ長調 4分の2拍子

こうしんきょく チャイコフスキー 作曲 ト長調 4分の4拍子

II 考察

1 題材観

(1) 育まれる主な資質・能力とその関係

(3) 学びに向かう力・人間性

反復の音楽の仕組みに関心をもって、音遊びや演奏に楽しく主体的に取り組む態度

(1) 知識・技能

反復の音楽の仕組みを理解し、短いリズムフレーズをつくったり、演奏したりする技能

(2) 思考力・判断力・表現力

反復の音楽の仕組みのよさや面白さを感じ取りながら、リズムフレーズの組み合わせや演奏の仕方を工夫したり、聴いたりする力

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

A表現 (1) イ 歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと。

(3) イ 音を音楽にしていくことを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくること。

B鑑賞 (1) イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴くこと。

〔共通事項〕(要素) 強弱, 音色 (音楽の仕組み) 反復

(3) 本題材や教材の価値

本題材では、反復の音楽の仕組みを生かして、短いリズムフレーズをつくったり、強弱を工夫して歌ったり演奏したりする学習をする。その価値は、以下のとおりである。

反復の音楽の仕組みは、同じ旋律やリズムが何度も繰り返されることから、2年生の子どもたちにとっても捉えやすい特徴である。反復があることで楽曲としてのまとまりがでたり、印象に残ったりすることから、重要な音楽の仕組みである。また、音楽には「音楽の仕組み」というものがあることを知ることで、身の回りにある音楽を全体像の面から捉えられるようになり、パートのバランスや楽曲の中での変化などに気付く素地を養うことができる。

コップで音楽は、2拍のリズムを4つ組み合わせることができる、音遊びである。6種類のリズムか

らは、その組み合わせによって700種類以上のリズムフレーズをつくることができ、友達と自分の音楽の違いやその面白さ、多様性に気付くことができる。楽器ではなくコップで音遊びをすることで、身の回りにある「音」や「音楽につながるもの」への関心を高めることができる。全員が同じコップであることから、奏法の違いによって音色が変わることが分かりやすく、オープンやクローズなどの打楽器の奏法につなげることができる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、3年「いろいろな音のちがいを感じて」で、自分なりのイメージを基に、音の特徴や音色の違いを生かして表現を工夫する。学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちはこれまでに、2年「いい音を見つけてあそぼう」において、打楽器の音色の違いを感じ取って聴いたり、打楽器の音の出し方や音色の組み合わせ方を工夫して演奏したりする学習に取り組んできた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本題材を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- (1) 打楽器の音の出し方を理解し、拍の流れに乗って簡易打楽器を演奏してきている。このような子どもたちが、反復の音楽の仕組みを理解し、短いリズムフレーズをつくったり演奏したりできるように、友達のつくったリズムフレーズの反復の音楽の仕組みの部分に色を付け、全員で演奏する時間を設定する。
- (2) 打楽器の音色の違いを感じ取って聴いたり、打楽器の音の出し方や音色の組み合わせ方を工夫してきている。このような子どもたちが、反復の仕方や組み合わせるリズムを工夫できるように、リズムカードを操作しながら、工夫を伝え合う時間を設定する。
- (3) いろいろな打楽器の音色に関心をもって聴いたり、進んで音を探したりしてきている。このような子どもたちが、反復の音楽の仕組みに関心をもって、音遊びや演奏に楽しく取り組めるように、旋律が反復している箇所を、挙手をしたり教室の中を移動したりする時間を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい リズムカードを操作したり、工夫や工夫のよさや面白さを伝え合ったりすることを通して、反復の仕方や、組み合わせるリズムを工夫することができる。
- 2 準備 リズムカード、コップ
- 3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。 ・友達の‘アエアイ’のリズムの組み合わせだと、最後にイのリズムがあるから、勢いがある感じが面白い。	○反復の音楽の仕組みを生かして音遊びをするという本時の見通しをもてるように、前時に子どもたちがつくったリズムフレーズを複数紹介し、反復するリズムの位置とよさを問いかける。

2 「コップで音楽」の音遊びをする。

- ・‘ウウエカ’の2番目と4番目の位置を交換して‘ウカエウ’にしてみるとどうかな。
- ・2番目と4番目の位置を変えたら、前よりもリズムカルになって楽しい感じになったよ。
- ・‘小ぎつね’の‘山の中’の部分を4回繰り返すと山びこみたいで面白いけれどしつこい感じがしたよ。2回くらいの方が、耳に残るし楽しい感じになると思うな。やっぱりリズムを2回続けてみようかな。
- ・私は‘ウウエカ’で、友達は‘アイアエ’だから繰り返しの仕方は似ていないな。順番に繰り返すと「こうしんきょく」みたいで、面白そうだな。
- ・友達は‘順番型’でつくったのだな。さっき私が考えた繰り返しの仕方だよ。でも私とは違うリズムを使っていたから、雰囲気も違って面白かったな。
- ・‘小ぎつね’はすぐに続けて繰り返しているから‘連続型’だな。他の曲も同じように繰り返している曲があるかもしれないな。

3 本時のまとめをする。

- ・前回よりまとまりのある感じのリズムフレーズができたよ。
- ・音の出し方を変えると雰囲気が変わるのだな。私のリズムパターンも音の出し方を変えてやってみたいな。

○反復するリズムの位置を自由に変えて試行できるように、リズムカードを用意し、実際に演奏して試しながらリズムを組み合わせるよう促す。

○反復する位置を変えることでリズムフレーズの雰囲気が変わることに気付けるように、反復するリズムの位置を変えた場所とそのよさを問いかける。

○反復するリズムの位置や回数を工夫して「コップで音楽」をつくれるように、「小ぎつね」の繰り返す旋律の繰り返す回数を変えて歌う時間を設定し、2回続けて繰り返していることのよさを問いかける。

○反復するリズムフレーズのよさに気付けるように、つくったリズムフレーズをペアで伝え合う時間を設定し、お互いの反復パターンの共通点や相違点を見つめるよう促す。

○子どもたちがつくった音楽を全員で楽しく演奏できるように、数名の子どものリズムフレーズを紹介する時間を設定し、当てはまる反復パターンを問いかける。

評価項目

反復の仕方や、組み合わせるリズムを工夫している。
<学習プリント(2)>

○「小ぎつね」の楽曲の構造を反復という面から捉えられるように、1番から3番まで通して歌う時間を設定し、「コップで音楽」の反復パターンのどれに当てはまるか問いかける。

○学習の充実感を味わえるように、反復の仕方や組み合わせるリズムを工夫して音遊びできたことを賞賛する。

○次時への見通しをもてるように、1つのリズムパターンの奏法を変えた範奏を提示し、印象の違いを問いかける。

IV 指導と評価の計画（全10時間）

題材	くりかえしの音楽				
目標	反復の音楽の仕組みを生かして、短いリズムフレーズをつくったり、強弱を工夫して歌ったり演奏したりする。				
評価規準	(1 知識・技能) 反復の音楽の仕組みを理解し、短いリズムフレーズをつくったり、演奏したりしている。 (2 思考力・判断力・表現力) 反復の音楽の仕組みのよさや面白さを感じ取りながら、リズムフレーズの組み合わせや演奏の仕方、強弱を工夫し、思いや意図を見いだしている。 (3 学びに向かう力・人間性) 反復の音楽の仕組みに関心をもって、音遊びや演奏に楽しく取り組もうとしている。				
教材	ア…コップで音楽 イ…小ぎつね 勝 承夫 日本語訳 ドイツ民謡 ハ長調 4分の2拍子 ウ…【鑑】 こうしんきょく チャイコフスキー作曲 ト長調 4分の4拍子				
過程	時間	配分	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
であう ふかめる	1	ウ	○「こうしんきょく」を聴き、『くりかえしの音楽の仕組みを生かして、音楽をつくったり歌ったりしよう』という学習主題をつかむ。	○AとBの旋律が交互に繰り返す、反復の音楽の仕組みに気付けるように、旋律が反復している箇所、挙手をしたり教室の中を移動したりする時間を設定する。	◇反復の音楽の仕組みに関心を持ち、体を動かしながら聴いている。 <表現・学習プリント(3)>
	2	アイ	○「小ぎつね」を歌唱する。 ○くりかえしの音楽の仕組みを生かして、「コップで音楽」の音遊びをする。(本時2/2時間目)	○繰り返し部分の強弱について考えられるように、教科書の挿絵や歌詞の内容から小ぎつねの気持ちや、周りの自然の様子などを伝え合う時間を設定する。 ○反復の仕方や組み合わせるリズムを工夫できるように、リズムカードを操作しながら、工夫を伝え合う時間を設定する。	◇歌詞の内容から、繰り返し部分の強弱について考え、発言したり学習プリントに記述したりしている。 <発言・学習プリント(2)> ◇反復の仕方や、組み合わせるリズムを工夫している。 <学習プリント(2)>
	3		○「コップで音楽」を工夫して音遊びをする。 ○「小ぎつね」を階名唱し、鍵盤ハーモニカで旋律を演奏する。	○様々な奏法や強弱の工夫に気付けるように、奏法や強弱を共有し、分類する時間を設定する。 ○正しいリズムや音程で鍵盤ハーモニカを演奏できるように、旋律の似ている部分を見付け、運指を確認する時間を設定する。	◇反復の音楽の仕組みを生かし、奏法や強弱を工夫している。 <表現・学習プリント(2)> ◇正しいリズムや音程で鍵盤ハーモニカを演奏している。 <表現(1)>
	3		○つくった「コップで音楽」を発表して、お互いの表現を聴き合う。 ○「小ぎつね」のくりかえしの部分の強弱を工夫して歌ったり演奏したりする。	○反復の音楽の仕組みを生かして演奏できるように、友達のつくったリズムフレーズの反復の音楽の仕組みの部分に色を付け、全員で演奏する時間を設定する。 ○反復の部分の強弱を工夫して演奏できるように、強弱を変えた演奏を録音したものを、聴き比べる時間を設定する。	◇反復の音楽の仕組みを生かして演奏している。 <表現(1)> ◇反復の部分の強弱を工夫して演奏している。 <表現(1)>
まとめる	1	ウ	○「こうしんきょく」を聴く。	○反復の音楽の仕組みのよさや面白さを感じ取れるように、反復している中で変化しているものを話し合う時間を設定する。	◇反復の音楽の仕組みのよさや面白さを感じ取りながら、楽曲を聴いている。 <表現・学習プリント(2)>